

平成 2 7 年 度

(第 1 回)

能 美 市 都 市 計 画 審 議 会

議 案 書

日 時 平成 2 7 年 4 月 1 7 日 (金)
午前 1 0 時 0 0 分

場 所 能美市役所本庁舎 地下 会議室 A

次 第

1. 開 会

2. 市 長 挨 拶

3. 審 議 事 案

議案第1号 能美都市計画道路の変更について（市決定）

4. 閉 会

能美市都市計画審議会委員

委員数 15 名以内

・学識経験を有する者（第 2 条第 2 項第 1 号）

委 員	能美市農業委員会会長	又 村 一 夫
委 員	能美市商工会会長	田 上 好 道
委 員	金沢工業大学環境・建築学部長／教授	森 俊 偉
委 員	北陸先端科学技術大学院大学教授	山 本 外茂男

・市議会の議員（第 2 条第 2 項第 2 号）

委 員	能美市議会議長	米 田 敏 勝
委 員	能美市議会産業経済常任委員長	東 正 幸

・関係行政機関の職員（第 2 条第 2 項第 3 号）

委 員	石川県南加賀土木総合事務所長	松 本 英 好
委 員	石川県南加賀農林総合事務所長	竹 田 文 雄
委 員	石川県南加賀保健福祉センター所長	沼 田 直 子

・市 民（第 2 条第 2 項第 4 号）

委 員	能美市町会連合会会長	高 塚 已紀雄
委 員	たけもと農場	竹 本 敏 晴
委 員	能美市婦人団体協議会会長	中 川 美 子
委 員	佐野郵便局長	山 野 優 子
委 員	能美市教育委員会委員	畑 中 美千代

審 議 事 案

議 案 番 号	議 案
議案第 1 号	能美都市計画道路の変更について（市決定）

能美都市計画道路の変更（能美市決定）

都市計画道路中 3・4・18 号寺井吉光線、3・5・19 号高堂泉台線を次のように変更する。

種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番 号	路線名	起 点	終 点	主 な 経過地	延 長	構 造 形 式	車 の 線 数	幅 員	地表式の 区間にお ける鉄道 等との交 差の構造	
幹 線 街 路	3・4・18	寺 井 吉光線	能美市 寺井町 レ	能美市 吉光町 ホ	—	約 1,460m	地表式	2 車線	12m	幹線街路との 平面交差 3 箇所	
	3・5・19	高 堂 泉台線	能美市 寺井町 ソ	能美市 泉台町 東	能美市 末信町 石子町 湯谷町	約 4,050m	地表式	2 車線	12m	幹線街路との 平面交差 7 箇所	

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理 由

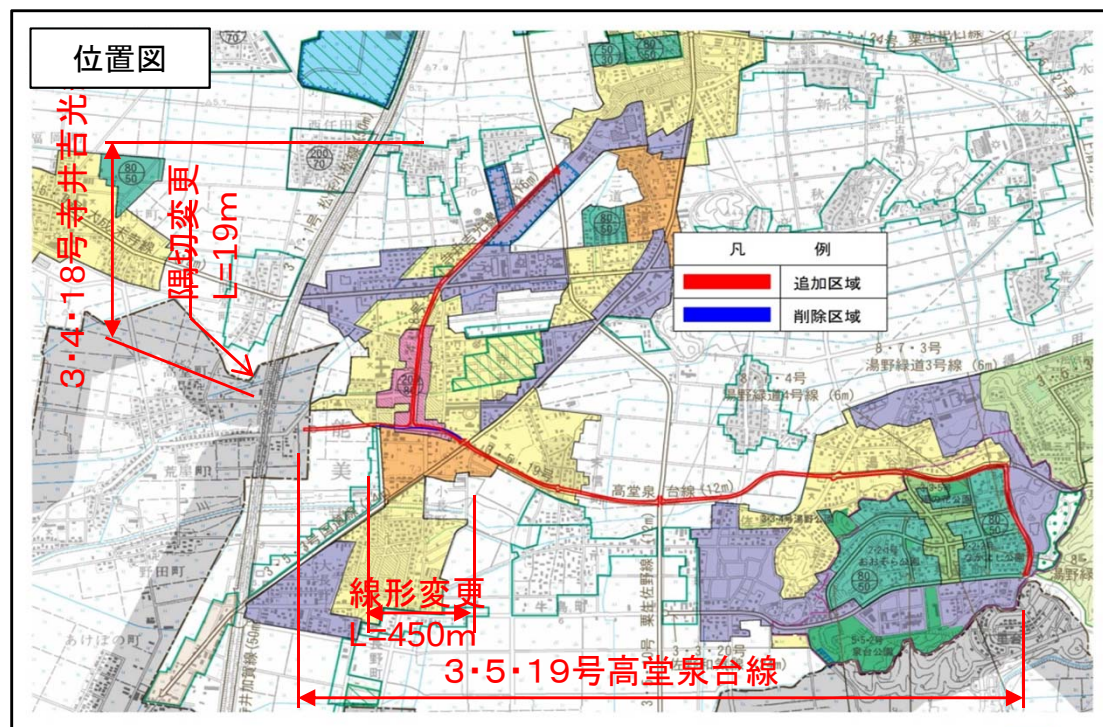
3・5・19 号高堂泉台線は、国道 8 号から寺井地区を通過し辰口地区を連携するための路線であり、能美東西連絡道路の一部区間を担う幹線道路として位置づけられる路線である。

能美東西連絡道路は、能美市南部および小松市北部を東西に横断する全長 8 k m の計画道路であり、地域相互の連携強化や沿道地域の活性化、防災時の避難経路の確保など、多面的な機能を有する幹線道路としての効果が期待されている。

本路線は昭和 40 年に当初決定されているが、今回、寺井町地内 L=450m の区間において、都市再生整備計画事業を活用したまちづくり事業に伴う道路整備を実施するに当たり、社会情勢の変化や交通量の増加、道路構造令への適合を勘案した線形に変更するものである。

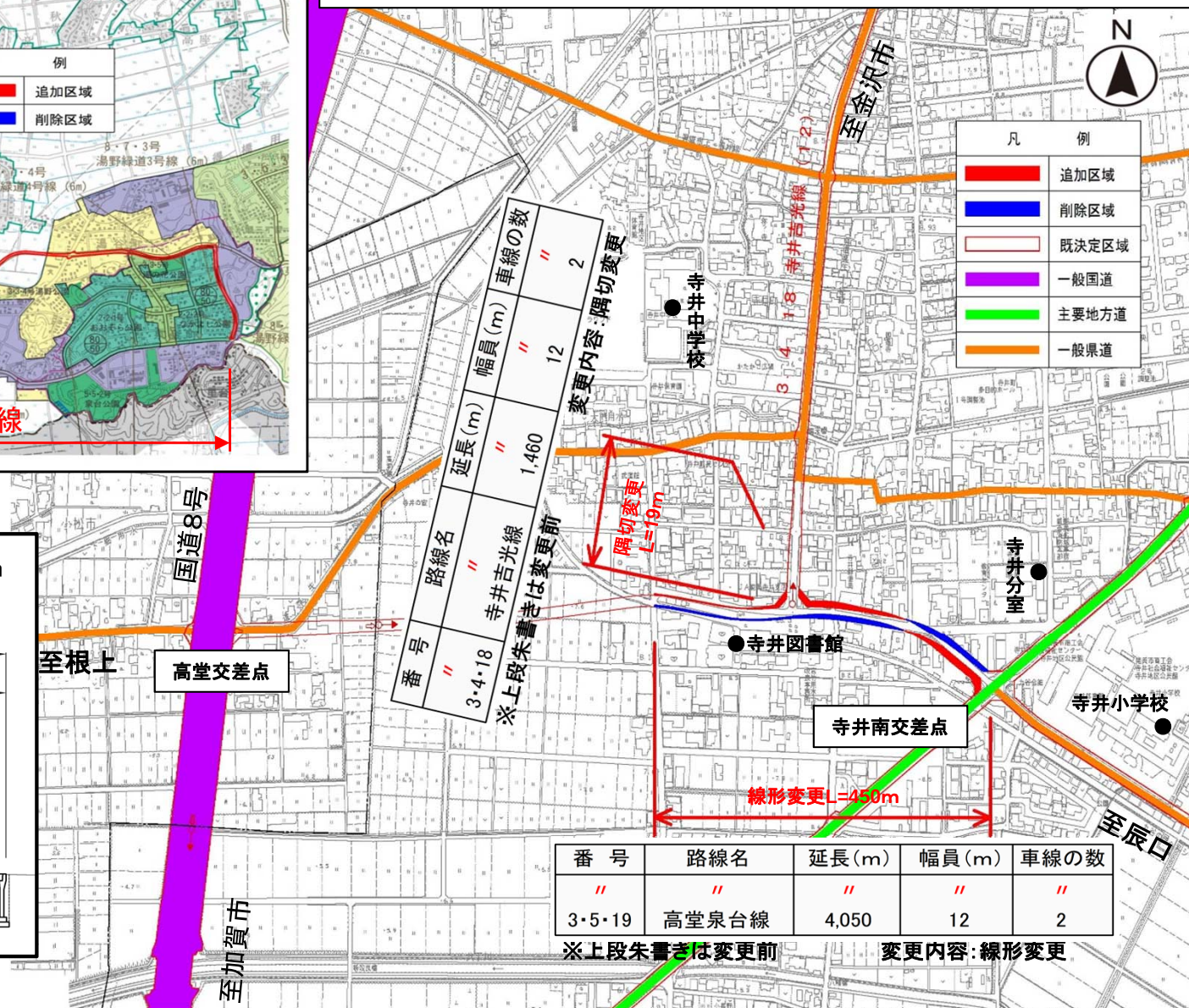
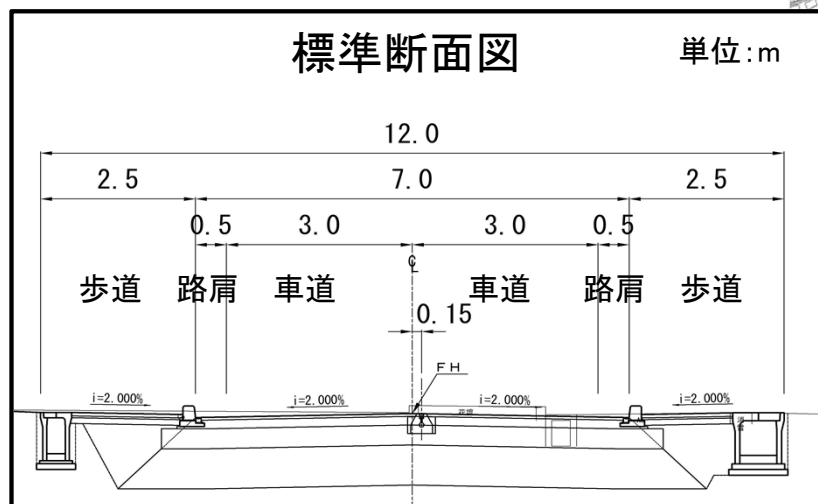
3・4・18 号寺井吉光線は、3・5・19 号高堂泉台線の線形変更に伴い、起点の交差部の隅切りを変更するものである。

能美都市計画道路の変更 3・4・18寺井吉光線、3・5・19高堂泉台線



【変更理由】

- ①道路構造令への適合(道路規格・右折車線)
- ②住宅密集地での地域コミュニティの機能維持



寺井地区(石川県能美市) 整備方針概要図

目標	【大目標】 地域住民の交流から育まれる寺井まちなかの活性化	代表的な指標	空店舗・空家の活用件数 (件)	1	(H25年度)	→	6	(H30年度)
	目標① : 地域の文化や人、町並みを活かして賑わいを再生する		中心商店街の自転車歩行者数 (人/12h)	200	(H25年度)	→	310	(H30年度)
	目標② : 市街地へのアクセス改善によって求心力を高める		子育て環境に対する満足度 (%)	57	(H25年度)	→	67	(H30年度)
	目標③ : 子育て世代が安心して暮らせる居住環境を整える							

